

会議等結果報告書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号 決裁期日	2515 令和7年10月27日
名称	令和7年度 第2回安平町地域公共交通会議（兼 安平町地域公共交通協議会）		
日時	令和7年10月23日（木） 午前・午後 10時00分～11時50分		
場所	安平町役場 総合庁舎（大会議室）		
出席者	<p>[委員] 田中会長（副町長）、佐々木委員、八巻専門官（室蘭運輸支局）、新保委員（あつまバス）、及川委員（追分ハイヤー）、海原委員（JR北海道）、佐々木委員（安平連合自治会）、山下委員（早来連合自治会）、小坂委員（遠浅自連協）、谷口副所長（室蘭開発建設部 代理出席）、小林委員（安平町商工会） ※リモート出席 松本主事（振興課地域政策課 代理出席）、高橋委員（室蘭建設管理部） [12名出席 / 17名中]</p> <p>[事務局] 政策推進課 山口課長、畠田、田中主事</p>		
会議概要	<p>【開会】 山口政策推進課長 委員17名中、過半数の出席を確認し会議が成立することを宣言</p> <p>【会長挨拶】 田中副町長 ・今年度、町、及び安平町地域公共交通協議会では、国土交通省より「交通空白解消緊急対策事業補助金」の交付を受けて様々な取組を進めている。中でも、12月には当町で初めて公共ライドシェアの実証を行う予定であり、一昨日の21日（火）には車両の納車を受けた。また、10/7（火）には、ライドシェアのドライバー養成のため「交通空白有償運送運転者講習会」を開催し、準備を進めている。 ・本日の会議では、このような主要事業の進捗状況の説明、及びライドシェア運行に当たっての検討事項についてもみなさまにお諮りするので、ぜひご意見等を頂戴したい。 ・なお、議事3点目の「自家用有償旅客運送（ライドシェア）の実施に関する協議について」では、道路運送法や道路運送法施行規則などの法令を根拠に、区域設定や運賃設定など実務的な部分を本協議会で協議する形になりますが、本日の議事提案内容を作成するにあたり、室蘭運輸支局の佐々木首席運輸企画専門官には多大なるご支援、ご助言をいただいたので、冒頭にてお礼を申し上げます。</p> <p>【2 議事(1) 安平町公共交通機関（循環バス・デマンドバス・ハイヤー）上半期の状況報告】 *循環バス、デマンドバス、ハイヤーの過去3カ年の乗車人数について、資料P3～5のとおり報告。</p> <p>【質疑】 ハイヤー1台、デマンド1台という条件は早来と追分で同じなのに、早来地区的デマンド利用者が減少した要因は何か。 【事務局】 早来地区ではR6.6月のハイヤー再開以降、デマンドの利用者がハイヤーに流れている傾向にある。これに加えて、「予約どおり動くのが難しい」「バス停から目的地まで歩くのが不便」「1時間前までの予約が面倒」など、デマンドバスのルールに関する不便性が挙げられている。 【委員】 追分エリアのデマンドは、郵便局や病院への利用が多い。R7.7～8月が爆発的に増えている要因は、ハイヤーで1名退職され、ハイヤーで抱えきれなくなった客がデマンドバスへ流れたという要因がある。 【事務局】 今後は、デマンドバスについて「商工会での利用者登録」や「1時間に1本の運行時間」などの制約を緩和し、利便性を高める方向で考えていきたい。</p>		

⇒ 議案のとおり確認

【2 議事(2) 国の補助金を活用した事業の実施状況】

*令和7年度に国の補助金を活用して実施する3つの具体事業について、資料P7～10、及び、別紙1に沿って説明。

1.利用者や交通事業者へのニーズ調査

[質疑] ニーズ調査は大事で、現状のヒアリング結果は貴重だが、定量的なデータ収集などを行う予定はないか？

[事務局] あつまバス千歳線の乗降調査、ほかの3つの路線は胆振総合振興局の乗降調査があり今後行う予定。

[助言] 課題は早来地区のデマンドバスにあると思うので、デマンドについて乗降調査を行ってもよいと思う。

[質疑] 地区の聞き取りは良いが、実際に活用するための地域別の説明会をぜひやってほしい。MONETとかMITTとか名前を知っている人が少ない。こんな取り組みをやるとか、親切に説明する機会をお願いしたい。

[事務局] 今回はアンケートを持参しながら実情を聞く会だったが、デマンドバスと循環バスを混同されている方などもいらっしゃったので、システムやルールが変わった段階では説明に伺う機会を考えたいと思っている。

2.配車システムMITTの開発

[意見] 以前、MITTのデモンストレーションの動画を見た印象では、自然な音声で認識しやすいと感じた。

[質問] MITTの受付について「LINE受付の稼働時期は様子を見て」とあるがどういうことか。

[事務局] 今までの電話のみの受付からLINEも含めた対応になるため、受付担当者が困惑しないよう、徐々に導入したいと考えたもの。

ハイヤードライバーも年配層の方がいらっしゃるため、少しずつシステムになれていただけるようにしたい。

3.公共ライドシェアの実証

[質問] MITTの導入まで約1ヵ月とスピーディーだが、講習会を何回も受ける予定か。

[事務局] 11月にMITTの機材が届く予定であるため、ライドシェア、ハイヤーの運転手に見ていただき慣れる機会ができるだけ設けたい。特にライドシェアドライバーはほとんど町民の方であるので、お金の扱い方、町の姿勢など細かいことを説明していくみたい。

[質問] ドライバーの人たちが冬道スタートるのが大変だろうと思われる。

[事務局] ライドシェア部会で議論した部分ではあるが、冬道は不安であるものの需要がある期間であるところも踏まえ設定した。

ドライバーたちも運転に慣れている方が多い。開発元のCICACさんも地元の老人の方の意見を踏まえて開発してきた背景がある。

特にMITTは苫小牧市勇払地域でも採用されているなどを含め、不安を解消していきたい。

[質問] 車両はなにか

[事務局] セレナ。環境への配慮からハイブリット車。

⇒ 議案のとおり確認

【3 議事(3) 自家用有償旅客運送（ライドシェア）の実施に関する協議について】

* 資料P11～16、別紙2に沿って説明

[質問] ライドシェアの支払い方法は？

[事務局] 運賃は現金か安平町共通回数乗車券での支払いを想定している。

[質問] 当初はドライバーを何人と想定していたか？

[事務局] 短時間シフトを想定し、5名ほどでの対応を想定していた。

[質問] ドライバーの拘束時間は？

[事務局] 8時出勤で準備を行い、8時半から運行の見込み。

[質問] 終了時間が20時は夜の営業としては半端にも感じる。

もし、20時に運行依頼が重なった場合はどのような対応になるか？

[事務局] 受付は20時までを想定。システムでの予約なので、20時枠が埋まればそこで受付不可になる見込み。

現在のハイヤーでも、終業時間ぎりぎりに予約受付している場合がある。その場合は、実績に応じてドライバーにはお支払いする。

[質問] 障がい者割引を設ける場合、申込時に申告してもらうのか？

[事務局] 事前に運賃を確定させるため、申込時に申告してもらうよう、受付手順に組み込みたい。

[質問] ドライバーの任用や監督指導はどこで行うか？

[事務局] 町で行う

[質問] 車両はどこに置くのか？

[事務局] 現在、早来地区のデマンドバスの事務所が置かれている旧早来医院をドライバース待機と車両の駐車場所にする想定。

⇒ 議案のとおり承認。

この内容で、運輸支局に登録申請を行う。

【3 その他】

[質問] 千歳空港の駐車料金が上がったこともあり、知人たちに新千歳空港への交通手段としてあつまバスを紹介したいが、料金はどれぐらいか？

[あつまバス] 780円。支払い方法は現金かPaypay。

[会長] 安平町が実施している「鉄道等利用促進活動助成制度」は今年度も住民の利用が多く、現時点で100万以上の交付申請があった。

[JR北海道] 情報提供として、現在、室蘭線にラッピング列車が走っている。過去に観光列車として使われていたものが集結しており、カラフルなデザインが特徴的なのでぜひ利用していただきたい。

【閉会】

以上、終了。（11:50）